

第 35 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会第 18 回教育セミナー開催案内

最近の傾向として、ストーマ晩期合併症（定義では術後 30 日以降に発症する合併症）のケアに携わる機会が増加しています。超高齢社会になり、過去にストーマを造設された方の高齢化、または高齢でストーマを造設することになったことや抗がん剤治療の進歩によって、緩和ストーマ造設件数の増加と造設後の保有期間の延長、抗がん剤による組織脆弱性なども関与していると考えられます。いずれの要因でも、合併症が発生した場合にはオストメイトの QOL が低下しないようなケア方法の提供や指導が重要であり、管理困難と思われる症例でも、装具やケアの工夫で対処できていることもあります。

入院期間は短期化していますが、退院指導には状況に応じて、晩期合併症を視野に入れ予防も含めた教育を行うことが大切です。また、化学療法や体調不良など別の理由でストーマ保有者が入院した機会に、ストーマ晩期合併症を発見し、生活に困らないための指導が実施されることがより望ましいと言えます。そのためには、ストーマ外来での指導のみならず、その他の外来や病棟でもできる指導や早期発見のための観察ポイントなどの知識が必要となってきます。

一方、感染予防対策に基づいた、安全な手術方法が進歩してきており、これまで一般的には合併症への手術は躊躇される傾向にあり、適応範囲が狭かったようですが、手術への可能性が高くなっていると考えられます。こういった情報を提供し、各施設において手術適応が拡大される機会になること、ストーマ晩期合併症の予防および適切な対応、オストメイトへの指導ができるようになることを目標に、今回の教育セミナーを企画しました。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。 (JSSCR 教育委員会)

開催日時：2018 年 2 月 23 日（金）午後の 2 時間

開催場所：ロイトン札幌

テーマ：「あきらめてはいけない！！ストーマ晩期合併症患者の QOL 向上

—傍ストーマヘルニア、脱出に焦点を当てて—

司会：板橋道朗 南 由起子

講演 1. 知っておきたい！ストーマ晩期合併症の基礎知識

講師 高橋孝夫

講演 2. 手術でここまで改善できる！

講師 板橋道朗

講演 3. あなたもできる！！ストーマ晩期合併症ケア

1) 予防ケア：日常生活指導 異常の早期発見 観察ポイントなど

講師 宮本乃ぞみ

2) ケアの実際

講師 尾崎麻依子 工藤礼子